

# 胃内視鏡検査説明書・予約票

ID: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_ 様

検査予約日	年	月	日 ( ) [ : ]	10分前にご来院ください
-------	---	---	-------------	--------------

＜＜検査目的＞＞ 食道・胃・十二指腸の一部の粘膜を内視鏡（直径約10mm、経鼻は約6mm）で直接観察することにより、逆流性食道炎や胃炎、潰瘍や癌などの病気を発見、診断するための精度の高い検査です。当院では従来の口からの検査に加え、鼻からの検査も可能です。またご希望に応じ、鎮静剤を使用したより苦痛の少ない検査も選択可能です。

＜＜検査方法＞＞

①消泡剤・粘液溶解剤内服・・・ 胃の中の泡や粘液を取り除くために白いシロップを飲んでいただきます。

②麻酔・・・  口からの検査の場合 検査室に移動後、のどにスプレーで麻酔（キシロカイン）をします。

鼻からの検査の場合 左右の鼻腔に出血を抑え、鼻のとおりをよくするため局所血管収縮剤をスプレーします。検査室に移動後、左右の鼻腔に麻酔薬（キシロカイン）を注入、局所麻酔を行います。内視鏡の挿入がスムーズになるように、細いチューブを入れて鼻腔を広げる場合もあります。

③鎮静剤・鎮痙剤注射・・・・・・ 鎮静剤（希望者のみ）、鎮痙剤（胃の動きを抑える薬）の注射をします。

④検査開始・・・・・・・・・・・・・・ 喉から食道、胃、十二指腸の一部を観察します。途中、必要に応じて生検（組織検査）を行う場合もあります。（検査時間はおよそ5分～10分程度）

⑤検査終了・・・・・・・・・・・・・・ 検査終了後ベッドで20分～30分程度お休みいただきます。（鎮静剤使用時）

⑥結果説明・・・・・・・・・・・・・・ PCで画像をお見せしながら担当医より結果説明をいたします。

＜＜飲食について＞＞ 前日の夕食は午後9時までに済ませ、就寝前までは水、お茶のみ摂取してください。当日は朝食を摂らないでください。（午後の検査の場合は、朝食はいつもの半分程度とし、昼食は摂らないでください）水、お茶は来院されるまで摂っていただいて構いません。

＜＜内服薬について＞＞

お薬はいつも通り飲んでいただいて結構です。

朝のお薬は飲まないでください。

朝のお薬（ ）は午前\_\_時までに飲んでください。

糖尿病の薬（インスリンを含む）は内服しないでください。

（ ）は\_\_月\_\_日より内服を中止してください。

＜＜その他＞＞ 鎮静剤の使用を希望された場合、車やバイク、自転車での来院はおやめください。診察の混み具合によっては多少お待たせする場合がございます。ご了承ください。予約変更、取消は少なくとも前日（休診日をのぞく）までにご連絡ください。

＜＜生検（組織検査）について＞＞ 検査中病変が見つかった場合、必要に応じて生検（組織検査）を行います。生検とは病変の一部を鉗子（かんし）という処置具でつまみ、顕微鏡で観察する検査であり、より精密な検査が可能になります。

＜＜偶発症について＞＞ 極めてまれですが、前処置で使用する麻酔薬などによるショック、内視鏡操作によって起こる出血や穿孔など、偶発症の可能性があります。日本消化器内視鏡学会の全国調査（2008年～2012年）によると、偶発症発生率は0.005%、死亡率は0.00013%と報告されています。

＜＜費用について＞＞

3割負担の場合	
観察のみの場合	約5,000円
生検を行なった場合	約9,000円～16,000円